



広報活動の実施状況について

令和5年3月
政策統括官付

(1) ロボットの走行実証と合わせた広報活動



令和4年11月26日に自動走行ロボットの走行実証を実施。その際、ロボット・バリアフリー関係者や報道機関などに向けて、走行実証の説明会を実施するとともに、ロボット本体や遠隔監視装置の展示を実施。実際にロボットが走行する様子も見学いただいた。

日程・場所

日程： 令和4年11月26日（土）AM

場所： 東洋大学 INIADホール

タイムスケジュール

時間	内容
9:00 - 9:35	受付開始
9:35 - 9:55	実証説明会
9:55 - 10:30	ロボット走行実証 * 事前撮影した動画で紹介
10:30 - 10:45	質疑応答
10:45 - 11:00	ロボットの走行デモンストレーション

参加者

ロボット・バリアフリー関係者、報道関係者等 約40名

実証説明会の様子



実証内容の紹介



ロボットの走行実証の紹介



ロボット遠隔監視システムの展示



ロボットの走行デモンストレーション

(2) 10年後の歩行って？アイデアコンテスト



「歩行空間ネットワークデータ」の普及・啓発を狙ったアイデアコンテスト。令和3年12月21日～令和4年7月31日まで募集し、合計439点の応募あり。本委員会にて審査を行い、優秀賞・特別賞として事務次官賞を設け、事務次官より表彰。

部門	受賞者	受賞作品
ネーミング部門	鈴木結子さん	「スマイル歩行ナビ」
ビジュアル部門	米田貴文さん	「あるこっく」 
アイデア部門 『バリアフリーの部』	Onion Ring (オニオンリング)	「PLAFETY ～安全な未来広がる歩行空間デジタルツイン～」
	金沢工業大学 心理科学科 6班	「危険地点投票システム」
アイデア部門 『イノベーションの部』	佐賀大学	「光活用型交通サイン計画」
特別賞	矢野和直さん	「アニメの世界に入れちゃう！アニメウォークメガネ」
	篠澤花奈さん	「らくらくおたすけロボット！」



表彰式の様子
(R4.11.29@国交省)



ホームページで作品詳細公表
[\(https://www.barrierfreenavi.go.jp/hokoucontest2021/\)](https://www.barrierfreenavi.go.jp/hokoucontest2021/)

(3) バリアフリー・ナビプロジェクト シンポジウム



バリアフリー・ナビプロジェクトの認知度向上を目的に、自動走行ロボットやまちづくりのテーマを含め、障害者や子育て目線で将来の展望について討議を行い、未来の「歩行空間」の可能性を紐解くシンポジウムを開催。現地会場およびオンラインで166名が参加。

バリアフリー・ナビプロジェクト シンポジウム

～人とロボットがスマートに共創する未来～

令和5年1月24日（火）13:30～15:30

於 東洋大学赤羽キャンパスINIADホール
同時オンライン配信

※国土交通省HPにて事後配信も実施



主催者挨拶



国土交通省 技監
吉岡 幹夫氏

多くの方が「バリアフリー・ナビプロジェクト」に興味を持ち、ひいてはユニバーサル社会の実現につながることを期待する旨発言。

趣旨説明



東洋大学INIAD学部長
坂村 健氏

歩行者移動支援の起源や近年の動向を紹介。シンポジウムを通じて、未来の道路を考える機会としてほしい旨説明。

施策紹介



国土交通省 政策企画官
松田 和香氏

「バリアフリー・ナビプロジェクト」の施策の歩みと取組概要を紹介。近年は、自動走行ロボットと連携していること等を紹介。

関連事例紹介①自動走行ロボット



(株)ティアフォー
岡崎 慎一郎氏

ティアフォーとして、自動運転システムの開発を行っており、そのソフトをオープンソース化してシステムの拡張性を広げていることを紹介。

また、令和4年11月に赤羽台で行った自動配送ロボットの実証実験の様子について紹介。

関連事例紹介②まちづくり



(独)都市再生機構
渡邊 美樹氏

URとして取り組んでいる生きやすい歩行空間のあり方とこれからの住環境について発表。

未来の実験住宅として、団地内での配送ロボや清掃ロボットの実証実験の様や、カメラやセンサーが複数台設置されたOpen Smart URについて紹介。

パネルディスカッション



■モデレーター 東洋大学INIAD学部長
坂村 健氏

■パネラー (社福)プロップ・ステーション
竹中 ナミ氏
アンバサダー (オンライン登壇)
瀬立 モニカ氏

(株)ティアフォー
岡崎 慎一郎氏
アンバサダー
網本 麻里氏

(独)都市再生機構
渡邊 美樹氏
国土交通省
福島 晶子氏

有識者やアンバサダーを交え、これまでのバリアフリーや歩行空間の問題点、これからの目指すべきユニバーサル社会のあり方などについて、障害者や子育て目線で議論。障害者の移動にまつわる困難さや、海外と比べたときの日本のバリアフリーの特徴について紹介があるとともに、今後、ICTを活用して障害者の働く場の広がる可能性があることや、人とロボットが共生できるようなバリアフリーが進む世の中について期待が示された。

(4) SNSを活用した広報活動

令和3年12月より「バリアフリー・ナビプロジェクト」広報用公式Twitterを開設し、取組内容や広報イベントの発信を行っている。特に、令和4年10月からは、車椅子利用者インフルエンサーの移動に関するツイートを「リツイート」や「いいね」し、情報発信を強化中。

	令和4年										令和5年	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月※	
ツイート数	0	0	6	4	6	4	4	10	5	8	4	
フォロワー数 (増加数)	47 (6)	56 (9)	68 (12)	73 (5)	83 (10)	88 (5)	108 (20)	113 (5)	129 (16)	149 (20)	158 (9)	
インプレッション	359	331	18,641	11,303	11,414	6,080	20,185	55,820	23,819	43,214	13,857	
リツイート数	2	1	51	36	56	24	87	105	53	86	39	
いいね数	1	2	62	47	71	37	137	144	82	137	45	

▲
HPで毎週
記事投稿
開始

▲
リツイート
開始

▲
ロボット
実証実験

▲
シンポジウム

※2月1日～14日 5

(5)ホームページでの情報発信

令和3年12月より施策広報用HPを開設し、歩行空間やバリアフリー等をテーマに、障害者への取材内容や、バリアフリー・ナビプロジェクトの広報イベントの情報発信を毎週投稿。また、投稿した内容は、同時にTwitterでもツイートを実施。

<記事投稿例>

令和5年1月10日投稿

アカザーの不自由自在 Vol.10 『苦手意識のあったバスに車いすで乗車！（バス編）』



最新のバスである東京BRTへ乗車した筆者が、これまで避けてきた普通の路線バスに乗車してみた体験を紹介。

令和5年1月24日投稿

ミラノコレクションに参加して見えたイタリアのバリアフリー事情～葦原海さんインタビュー（前編）



車いすモデル・インフルエンサーの葦原海（あしはら みゆう）さんにインタビュー。イタリアで体験した日本とのバリアフリー事情の違いなどを伺った。

(6)教育機関と連携したデータ整備実証概要



学生にバリアフリーやデータ収集方法のレクチャーを行い、スマートフォン等で3次元点群データの収集を行う実証を実施。3次元点群収集アプリ、ネットワークデータ整備ツールの両方を体験し、データ収集の簡便性や3次元点群データからのバリアフリー情報の抽出可能性等を検証。

教育連携実証の概要・流れ

- 授業で学生と3次元点群データを収集し、収集データからのバリアフリー情報の抽出可能性、継続的なデータ収集の可能性を検討。

実施日：	3/2（木）、3/9（木）
フィールド：	山形県立酒田光陵高校 情報科

事前学習	<ul style="list-style-type: none"> バリアフリーに関する知識（障害とは何か）、3次元点群データとその活用例のレクチャーを実施
収集方法の説明	<ul style="list-style-type: none"> 3次元点群データ、歩行空間ネットワークデータの収集方法、データ収集時の留意点、収集エリアを説明
データ収集	<ul style="list-style-type: none"> 対象エリアをまち歩きしながら、3次元点群データ、歩行空間ネットワークデータを収集
ワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> 3次元点群データ、歩行空間ネットワークデータを活用した地域課題の解決手法を検討するワークショップ

実証利用ツール

- 市販の3Dスキャンアプリ、歩行空間ネットワークデータ整備ツールの両方を体験し、データを収集。

歩行空間ネットワークデータ

タブレット端末で歩行空間ネットワーク整備ツールを使用




3次元点群データ

スマートフォンで利用可能な市販の3次元点群データ収集アプリを使用

【アプリ例】



位置座標の取得・補正ができるもの

参考：https://www.cadjapan.com/products/items/optim_geo_scan/



位置座標の取得・補正をしないもの

参考：<https://3dscannerapp.com/>

両方体験し簡便性等を比較

(7)その他広報活動



複数の関連イベントにおいても、セッションへの参加やパネル展示を行い、バリアフリー・ナビプロジェクトを幅広く知っていただく活動を実施。

TRONイネーブルウェア シンポジウム/TEPS35th

日時：令和4年11月26日
場所：東京大学赤羽キャンパス
主催：トロンフォーラム
/TORONイネーブルウェア研究会



「ロボット技術×次世代光ネットワークで
障害者を支援する」と題して、「バリアフ
リー・ナビプロジェクト」の紹介やパネル
セッションへの参加を行った。

G空間EXPO 2022

日時：令和4年12月6, 7日
場所：東京都立産業貿易センター
主催：G空間EXPO運営協議会



国土交通省ブースで、「バリアフリー・
ナビプロジェクト」のパネル展示を実施。
石井副大臣がブースを視察され、
熱心に質問された。

2022 トロンシンポジウム

日時：令和4年12月7～9日
場所：東京ミッドタウン
主催：トロンフォーラム



清水政務官が来賓として挨拶。また、
「バリアフリー・ナビプロジェクト」のセッシ
ョンへの参加や、パネル展示を行った。